

# 浜家連ニュース



第137号

平成24年(2012)年1月1日発行

○発行 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会  
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3F  
電話 045(548)4816 FAX045(548)4836

## ☆望むこと・あきらめないこと☆

NPO 法人浜家連副理事長 松本やす子

新年明けましておめでとうございます。去年は思いもかけない天災が起きました。3・11 東日本大震災、それに伴う福島原発事故、放射能汚染が9ヶ月過ぎた今も広域に広がり続けている有様です。大津波で地域そのものが消えてしまったところ、全国に避難されている方々、仮設住宅で寒さ・暑さにさらされている方々、障害を持った当事者・家族の日々の生活を思うとき、そこから離れたこの横浜で暮らしている自分たちは多少の苦難を乗り越えなくてはと強く感じます。

NPO 法人浜家連に移行して活動を始め1年2ヶ月が過ぎました。対外的には浜家連の組織の大きさ・信頼感・必要性が感じられますが内部としては課題が多いです。まず会員の高齢化です。啓発活動・要望活動・各区家族会活動等など沢山動かなくてはならないことの大変さがあります。出来るものなら少しでも早く世代交代を図り、そして若い人たちを取り込んでいきたいものです。

本年2月12日(日)にNPO 法人浜家連が行なう最初の大イベント“上條恒彦&小室等チャリティーコンサート”をKAAT 神奈川芸術劇場に於いて開催します。出演料の一部を東日本大震災の義援金に充てることを出演者の了解を頂いております。

又、年々精神疾病者が増えています。昨年7月厚生労働省は国民疾病を4大疾病から精神疾患を加え国民5大疾病と発表し、重点的に取り組んでいくこととなります。「5大疾病」になって全国どこに住んでいても病気の症状にあった治療が受けられるように各都道府県が医療計画で体勢を整備しなければならないということです。

国は23年度からアウトリーチ(医師・多職チームによる訪問介入)を試験的に全国20数ヶ所予算化して始めました。みんなねっと香川大会に出席し、分科会に於いて和歌山県福祉事業団がモデル事業を行っている状況報告がありました。課題は沢山あるように感じましたが、始めから100%充実した事業は望めないが、制度化され動き出したことに意義があると思えました。独自で始められている、又始めようとしている病院・クリニックが近隣で出てきております。身近に必ず1ヶ所や2ヶ所出来てくれると通院を拒んでいる患者(ひきこもりの当事者)を抱えた家族は大変助かるところです。

浜家連では、「重度障害者医療費助成制度」の適用の要望活動を、毎年、毎回行ってきていますが、県、横浜市共に「予算が無い」の一点張りの回答しか得られていません。昨年11月末に「重度障害者医療費助成制度」について市議会として、神奈川県に意見書を提出するよう請願し、各会派の市会議員さんに署名をしていただいて、市議会で受理され採択されました(2ページをご覧ください)。今後は市議会で議論がされることになりました。

「こころの健康を守り推進する基本法」の法制化を目指して、昨年12月1日(木)「こころの健康推進議員連盟」が発足しました。「同連盟」の石毛鏡子会長(衆議院)与野党の国会議員、党の代表

や歴代の厚労相ら、超党派の議員が名前を連ねています。基本法を作るにあたり、これまでの100万人署名運動も続け、各種障害者団体・医療関係者・当事者団体・家族会等、多くの意見が反映されることを期待します。

## 「重度障害者医療費助成制度」に関する意見書の提出について～市議会で可決され県知事へ提出されました

先月の浜家連ニュースでも請願書を提出して、受理されたことをお知らせしましたが、12月12日(月)の健康福祉・病院運営委員会では全会一致で可決されて、12月16日の本会議に上程されました。委員会をモニターで傍聴しましたが、他にも議案、請願、陳情等ありましたが、私共のお願いした請願書は、各派の議員さんたちが署名してくれていたため、質問もなく委員会として採択されました。その後書記の方から、下記の文面が読み上げられて、この文面も承認されて、本会議に上程されることになりました。見ていた浜家連から出席した石井理事長以下全員が拍手して喜びました。長年の懸案が一つ前進しました。今後は、県会への働きかけを神家連さん等と一緒に手を取り合って、更なる前進が図れるように施策部会で検討していくことになりました。12月16日の市議会はパソコンの録画によって閲覧できますのでご覧下さい。

### 重度障害者医療費助成制度に関する意見書（全文）

平成18年4月1日の障害者自立支援法施行により、障害者施策においては身体障害、知的障害、精神障害の三障害一元化の原則が唱えられ、神奈川県においても、平成19年3月の医療費助成制度見直し検討報告書で、重度障害者医療費助成制度については三障害一元化などを考慮しつつ今後の見直しを検討するとの方向が示されている。さらに、平成22年8月に神奈川県市長会、平成22年10月には神奈川県都市民生行政連絡協議会から、精神障害者に重度障害者医療費助成制度を適用するようとの要望が出されているところである。しかしながら、重度障害者医療費助成制度において精神障害者はいまだに対象とされておらず、本市においても精神障害者を対象とした医療費助成は通院については国の制度である自立支援医療、入院については市が実施している月額1万円の入院医療介護金のみであり、入院や合併症の医療費が精神障害者の家計を大きく圧迫している。また、重度障害者医療費助成制度は昭和48年に全額県費補助により発足したが、その後のたび重なる補助率削減により県内各自治体に財政負担を強いており、さらに平成10年度以降、政令都市への補助率は他の市町村との間に格差が設けられ、本市に対しては3分の1まで削減されている。こうした状況が長く続いてきていることは、他の市町村の住民と同様に県民税を負担している本市市民の理解と納得が得られるものではない。

そこで、県補助事業である重度障害者医療費助成制度において三障害一元化を実現し、障害者の経済的負担を軽減するとともに福祉の充実を図るために、次の事項を早急に実施されるよう強く要望する。

- 1 他の障害者と同様に、精神障害者福祉手帳1級、2級所持者にも重度障害者医療費助成制度を適用すること。
- 2 本事業に関する補助率を横浜市に対しても一般市と同様に2分の1とすること。

ここに横浜市議会は、全会一致をもって、地方自治第99条の規定により意見書を提出する。(紙面の都合で改行が少なくなっていて読みにくくなっていますがご容赦ください)

平成23年12月16日

神奈川県知事 あて 横浜市議会議長 佐藤 茂



# こころの健康政策構想実現会議について

## 「こころの健康を守り推進する基本法」制定を求める国会請願署名 11月6日全国一斉街頭署名 名27都府県で1300名参加しました

「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を求める第二次全国一斉街頭署名は、11月6日に行われました。この日は全国的に雨模様で、雨のために中止した地域が5県ありました。(神奈川県(浜家連)は雨天の為中止しました)

また街頭署名の予定していたところで後日実施したところが4県ありました。このような状況のため、11月6日の全国一斉街頭署名は、24都府県、32地域となりました。その後現在まで(報告があった所)3府県7地域で実施されました。結果として、第二次全国一斉街頭署名は、27都府県・39地域・参加者1,135名、署名数は12,183筆でした。

### 現在、署名集約45万筆を突破 ⇒ 署名活動は来春1月末まで

11月19日やどかり情報館で署名集約を行い、集約数は44万筆を突破しました。11月6日の全国一斉街頭署名数を加えると45万筆を突破しました。

この間の署名の取り組みは、7月に精神疾患を「5疾病」と重点疾患に位置づけ、12月に「こころの健康推進議員連盟」の結成など、精神保健医療改革に向けた大きな動きを作り出しています。署名の取り組みは、世論そして政治を動かす大きな力となっています。署名は現在も全国各地で精力的に取り組まれています。引き続き全国各地での取り組みをお願いします。最終集約は本年1月末日です。

## ♪ ♪ チャリティーコンサートについて ♪ ♪

### 平成24年2月12日(日)

出演者 上條 恒彦 小室 等

曲 目 出発の歌 だれかが風の中で 襟裳岬

サトウキビ畑 雨のベラルーシ 他

開 場 : 午後2:00 開 演:午後2:30

会 場 : KAAT 神奈川芸術劇場 (みなとみらい線日本大通り駅3番出口徒歩5分)

入場料 : 4500円(前売り券4000円)全席自由席

主 催 : NPO法人浜家連チャリティーコンサート実行委員会

後 援 : 横浜市健康福祉局 横浜市社会福祉協議会 他多数

お問合せ先 NPO法人浜家連チャリティーコンサート実行委員会

TEL 045-548-4816 FAX 045-548-4836

各単会さんのご努力でチラシも追加発注するほどで、事務局への問い合わせも増えつつあります。チケットはまだありますので、新年会等でお友達にお話して勧誘をよろしくお願いします。

12月16日には上條さん・小室さんとの打ち合わせが出来ました。



## ☎ ☎ 電話相談臨時休止のお知らせ ☎ ☎

平成24年2月12日(日)の電話相談は、チャリティーコンサートが行なわれる為、臨時休止としますのでご承知ください。

### ※ ※ ※ 家族学習会について ※ ※ ※

23年度の家族学習会は、鶴見区、都筑区、栄区の3区で開催され、今年度は残すところ磯子区(なぎさ会)の学習会です。参加者も決まりましたので予定通り開催します。

鶴見区(のぞみ)は2回目の実施で、担当者の方も慣れておられ、和やかに運営されて、参加者からは好評を得ました。都筑区(すずらん会)も初回こそリーダーが突出しましたが、回数を重ねるうちに担当者も進行に慣れて運営し、参加者からは病気の事を体系的に勉強出来て良かったとこちらも好評でした。栄区(さかえ会)も2回目でしたので上手いきました。今後の家族会の例会運営に役立たせていければ、家族会活動も活況になっていくように思います。

### イベントのお知らせ

#### § 1 Cブロックフォーラム

日時 平成24年2月16日(木) 午後1時～午後4時  
(開場12時30分)

場所 南区公会堂 (市営地下鉄 蒔田駅下車 徒歩3分)

定員 500名 (予約不要) 参加費 500円 (資料代)

内容 1部 (午後1時10分～2時30分)

講演 テーマ ～アクセスのいい時宜に適った医療～

講師 東海林 正 先生(石川町クリニック 院長)

2部 (2時40分～3時50分)

講演 テーマ “自分という人生の長距離ランナー”

講師 増田 明美 さん (スポーツジャーナリスト)



#### § 2 「骨格提言」にそった障害者総合福祉法の実現を

“世界に誇れる障害者総合福祉法を！！”

日時 平成24年1月22日(日) 13時～16時30分

場所 健康福祉総合センター4階ホール(桜木町駅下車)

講師 小野 浩さん(障害者制度改革会議総合福祉会員)

参加費 資料代500円 (当事者250円)

主催 骨格提言を学び総合福祉法に結実させる神奈川の会

後援団体 手をつなぐ育成会、浜家連、障神奈連、守る会連盟

連絡先 横浜市障害者地域作業所連絡会 佐藤 文明

(社福)夢21福祉会内 TEL 045-334-0491 FAX 045-331-4653



#### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年3月11日の東日本大震災以来まだまだ支援が求められています。一人一人の出来る支援を続けたいと思います。今年もご支援ご鞭撻をよろしくお願ひします。